

第2次北斗市総合計画 基本計画（素案） 委員意見等一覧表

【ひとづくり部会所管】

○基本目標2 誰もが幸せで輝くまちづくり

基本計画名		ページ
基本計画1	子ども・子育て支援の充実	1
基本計画2	地域福祉の充実	3
基本計画3	高齢者福祉、介護保険の充実	
基本計画4	障がい者（児）福祉の充実	5
基本計画5	保健予防、医療環境の充実	
基本計画6	生活困窮者に対する福祉の推進	
基本計画7	学校教育の充実	7
基本計画9	生涯学習の推進	9
基本計画10	文化、スポーツの振興	
基本計画11	移住・定住の促進	11

○基本目標4 市民参加による協働のまちづくり

基本計画名		ページ
基本計画1	地域コミュニティ基盤の充実	13
基本計画3	時代に対応した持続的で効率的な行財政運営	
基本計画4	ほくと・魅力の向上	15

基本目標2 誰もが幸せで輝くまちづくり

基本計画1 子ども・子育て支援の充実

NO.	区分	内容	該当箇所（修正前）
1	質問	<p>共通事項（計画）</p> <p>・14年前と比較すると出生数が3割減っている。市としてはどのような認識なのか。</p>	
2	意見	<p>共通事項（計画）</p> <p>・計画に記載されていることは、新しい事業ではなく既に実施している事業なので、新事業を加えることはできないか。 ・今まで住んでいて魅力を感じている人たちにもう1人生んでもらうような施策を考えなければならない。</p>	<p>1 子どもを産み育てる環境の充実 ⑥子育て世代のニーズを把握し、時代の要望に応える施策を展開、拡充できるよう調査研究に努めます。</p>
3	意見	<p>共通事項（計画）</p> <p>・北斗市は保育料や給食費の一部無料化等を実施しているが、市外の人たちからはあまり魅力がなくなってきている。 ・事業にはインパクトが必要で他市町村とは競争はするが、施設は広域的な環境で考える観点が必要。</p>	
4	意見	<p>成果指標（NO.3）</p> <p>・虐待の発生要因を把握し、指標のとおり件数を減少させるような対策を行っていただきたい。</p>	

市の考え方	修正内容・修正文案（事務局案）
<p>・本市は、年々出生数が減っており、10数年前は第2次ベビーブーム世代（'71～'74年生れ）が出産する年代であったため、出生者数が多かったと思われる。なお、本市で出生率の大きい25歳～34歳の女性の人口を平成18年と平成28年と比較すると35.2%減少しており、出産する女性の数自体も減っている現状である。</p> <p>・また、平成27年に策定した総合戦略・人口ビジョンにおける人口動態から、最近では若年層が札幌へ集中しその後、就職等でさらに首都圏へ移動するという大きな流れがあることが判明しており、人口減少問題の克服に向け、平成28年度から様々な事業を実施している。</p>	
<p>・平成28年度から不妊治療助成事業等新規事業を実施しているので利用状況等の様子をみていきたい。</p> <p>・計画は、今後10年間の計画なので、具体的な新たな施策を盛り込むことは難しいものの、来年度からは、次期の子ども・子育て支援事業計画の策定に向けた準備に入るので、今後も子育て世帯のニーズの把握に努め、国や北海道の動向を見ながら魅力ある子育て支援策の展開を検討していく。</p>	<p>・意見を踏まえ、新たな支援策の実施に関する記述を追加し、修正する。</p> <p>（修正案）</p> <p>1 子どもを産み育てる環境の充実</p> <p>⑥子育て世代のニーズを把握し、時代の要望に応える施策を展開、拡充できるよう調査研究に努めるとともに、もっと子どもが生まれ育てられるような支援策を実施します。</p>
<p>・本市では子育て支援策として、高校生までの子どもの医療費助成や多子世帯の給食費の軽減、保育料の軽減など、子育て支援策を講じてきたが、出生数が減少していることについては、PR下手ということが1つあるのではないかと考えている。</p> <p>また、近隣市町においても本市と同様な子育て施策に取り組んできていることも要因として考えている。</p> <p>・広域的な環境での施設計画となると、北海道や函館圏域での取り組みが必要と考える。他団体等の動向を見ながら調査研究していく。</p>	
<p>・平成29年度から、児童福祉法の改正により市の役割の明確化及び要保護対策協議会が強化されることから、対象児童の把握、養育支援などに努め、虐待事案の減少を目指していく。</p>	<p>・主要施策3で子どもへの虐待防止に向けての施策を記載していることから、修正はしないこととする。</p>

基本計画2 地域福祉の充実

NO.	区分	内容	該当箇所（修正前）
5	質問	<p>主要施策（2）</p> <p>・将来的に民生委員になる担い手の確保はどうなっているか。</p>	2 地域福祉活動を担う人材の育成
6	意見	<p>主要施策（3-②）</p> <p>・地域住民が主体的に地域づくりに取り組むような仕組みづくりがこれから必要になってくるのではないか。</p>	<p>3 ボランティア意識の醸成と活動団体の育成</p> <p>②市民一人ひとりが持っている技能を活かして、社会福祉協議会との連携により、ボランティア活動への参加のための啓発や市民が参加しやすい仕組みづくりに努めます。</p>

基本計画3 高齢者福祉、介護保険の充実

NO.	区分	内容	該当箇所（修正前）
7	意見	<p>共通事項（計画）</p> <p>・高齢者による高齢者の介護問題について疑問を感じているが、市の対策はどのようになっているのか。</p>	<p>1 健康づくりの総合的な推進</p> <p>③関係機関と連携し、日頃からの健康管理や、ラジオ体操・ふまねっと運動などの普及を図り、介護予防と健康づくりを推進します。</p> <p>3 地域包括ケアシステムの推進</p> <p>①介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護だけでなく医療や予防、生活支援、住まいを一体的に提供できる地域づくりを推進します。</p>

市の考え方	修正内容・修正文案（事務局案）
<p>・地域において見守りや支援が必要な高齢者が増えることが予想されており、現在の町内会を中心とした推薦の仕組みによる民生委員児童委員の候補者選定には限界があることから、担い手の確保に向け、地域住民の協力と行政による支援が不可欠である。</p>	<p>・意見を踏まえ、主要施策名を修正し、その中に人材の確保を含めた施策を追加する。</p> <p>（追加案） 2 地域福祉活動を担う人材の育成・確保 ③民生委員児童委員の人材を掘り起こすため、活動内容等に対する理解促進に向けた取組を推進します。</p>
<p>・地域づくりのためには、地域住民の主体性を醸成していくとともに、住民自身の取り組みを支援し、ボランティア活動への参加を促していく必要がある。</p> <p>そのため、ボランティアスクールの開催や海岸線クリーン作戦などを通じ、誰でも気軽にボランティア活動ができることを啓発するとともに、高齢者の多い地域や若い人の多い地域、都市部や山間部などその地域の実情に応じた地域づくりができるよう支援する。</p>	<p>・意見を踏まえ、主体的な取組を含めた記述に修正する。</p> <p>（修正案） 3 ボランティア意識の醸成と活動団体の育成 ②市民一人ひとりが持っている技能を活かし、市民の自主的・主体的な参加によるボランティア活動を促進します。</p>

市の考え方	修正内容・修正文案（事務局案）
<p>・高齢化が進行する中で、高齢になっても、住み慣れた地域で介護の必要がなく自立して暮らし続けることができるよう、日頃からの身体機能の維持や健康管理などの介護予防が必要となる。</p> <p>・介護や支援が必要になったとしても、近所に家族がいない、家族そのものがいない、近所付き合いが希薄化しているなど理由により、支援を要する一人暮らしの高齢者や高齢者のみ世帯等の高齢者が、自分の心身状態にふさわしいサービスが受けられるよう、医療、介護、介護予防、住まい、生活支援が包括的に提供される地域包括ケアシステムの推進が必要である。</p>	<p>・意見を踏まえ、介護予防と健康づくり推進の目的を文言として追加する。</p> <p>（修正案） 1 健康づくりの総合的な推進 ③自立した生活を送るための機能維持、向上が図られるよう関係機関と連携し、日頃からの健康管理や、ラジオ体操・ふまねっと運動などの普及を図り、介護予防と健康づくりを推進します。</p> <p>・意見を踏まえ、介護が必要になる前からの生活支援を含む包括的な支援が必要であると考え、文言を修正する。</p> <p>（修正案） 3 地域包括ケアシステムの推進 ①高齢者のみ世帯等の支援を要する高齢者が、一人ひとりの心身状況にふさわしいサービス等が受けられるよう、医療、介護、介護予防、住まい、生活支援が包括的に提供できる地域づくりを推進します。</p>

基本計画4 障がい者（児）福祉の充実

NO.	区分	内容	該当箇所（修正前）
8	質問	<p>主要施策（3-④）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手話言語条例（仮称）の制定とあるが、どのような内容か。 	

基本計画5 保健予防、医療環境の充実

NO.	区分	内容	該当箇所（修正前）
9	意見	<p>共通事項（計画）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・50歳以上の希望者に水痘ワクチンを帯状疱疹予防として接種できるような施策を考えてほしい。 	

基本計画6 生活困窮者に対する福祉の推進

NO.	区分	内容	該当箇所（修正前）
10	質問	<p>共通事項（計画）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・函館市は母子世帯の割合が高いが、北斗市の現状はどうなっているか。 	
11	質問	<p>共通事項（計画）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・函館市は生活保護世帯の割合が高いが、北斗市の現状はどうなっているか。 	

市の考え方	修正内容・修正文案（事務局案）
<p>・手話言語条例（仮称）については、ろう者とろう者以外のものが共生することができる地域社会を実現することを目的とし、言語としての手話の普及を図るため北海道においても条例制定が予定されていることから、具体的内容については、今後状況を見ながら検討する。</p>	

市の考え方	修正内容・修正文案（事務局案）
<p>・水痘ワクチンについては、具体的な施策としてのご意見として承りたい。 なお、今後法定化や効果の顕著と考えられる予防接種については、保健医療福祉問題協議会と協議し、医学的見地に基づき、充実に努める。</p>	<p>・主要施策に予防接種に関する記述がなかったことから、以下の文言を追加する。</p> <p>（修正案） 2 予防接種の充実 ①感染症発生の予防と蔓延を防ぐため、各種予防接種を実施し、接種率向上のための勧奨を行うとともに、保健医療福祉問題協議会と協議し予防接種の充実を図ります。</p> <p>（元の主要施策2を主要施策3に、元の主要施策3を主要施策4とし、主要施策を追加）</p>

市の考え方	修正内容・修正文案（事務局案）
<p>・平成27年国勢調査では、本市の母子世帯は584世帯（全世帯のうち3.2%）、父子世帯は53世帯（全世帯のうち0.3%）となっている。一方で、函館市の母子世帯は2,882世帯（全世帯の2.3%）、父子世帯は170世帯（全世帯の0.1%）となっており、母子世帯・父子世帯の割合とも函館市を上回っている。 これは、本市の福祉施策・子育て支援制度が充実しているからと考えられ、同調査における年少人口の割合（本市13.7%、函館市10.2%）も本市の方が上回っている。</p>	
<p>・平成28年11月現在、本市の保護率（人口に対する保護人員数）は1.55%となっており、一方、函館市の保護率は4.61%であり、本市は函館市より割合が低くなっている。</p>	

基本計画7 学校教育の充実

NO.	区分	内容	該当箇所（修正前）
12	意見	<p>成果指標（NO.1）</p> <p>・タブレット端末の導入において、低学年におけるメディア・リテラシーや家庭内などにおけるコミュニケーションの減少を助長することがないような対策、考慮が必要でないか。 タブレットの授業等の活用内容をお知らせください。</p>	<p>2 確かな学力の育成</p> <p>②補助教員や学習支援員の配置などによるきめ細かな指導体制の工夫改善を図るとともに、ICT機器の活用によるわかりやすい学習指導と情報能力の育成に努めます。</p>
13	質問	<p>主要施策（5）</p> <p>・キャリア教育について、計画では触れていないが、どのように考えているのか。</p>	
14	質問	<p>主要施策（4-③）</p> <p>・幼稚園、保育園が小学校との連携で年長と小学校1年生とのつながりが大事だと思うが、具体的な取り組みについて知りたい。</p>	
15	質問	<p>主要施策（1）</p> <p>・安全・安心とは何か、教育委員会の考えや指導について教えていただきたい。</p>	

市の考え方	修正内容・修正文案（事務局案）
<p>・タブレット端末については、あくまでも教師や生徒の補助教材として導入していく考えである。</p> <p>教師については、授業の資料作成の時間短縮、児童については、学習意欲の向上や理解を深めるために有効活用し、懸念されるメディア・リテラシーについては、児童の発達段階に合わせた情報教育の中で指導していく。</p> <p>なお、タブレット端末の授業の中での活用については、発表資料の作成や体育の時間の自分の実技を確認などを予定している。</p>	<p>・意見を踏まえ、ICT機器の適切な使い方を追加し、修正する。</p> <p>（修正案） 2 確かな学力の育成 ②補助教員や学習支援員の配置などによるきめ細かな指導体制の工夫改善を図るとともに、ICT機器の活用によるわかりやすい学習指導と適切な利用の仕方など、情報活用能力の育成に努めます。</p>
<p>職業観・勤労観を育む学習は、職業的発達にかかわる諸能力の育成が必要となるが、すでに、小学校から児童の発達段階にに応じて、勤労観を育成する学習を始めており、中学校では、就労体験をとおして、勤労の意義や職業の社会的な役割を理解させる学習を実践している。</p> <p>また、これまで高等学校との連携や公立はこだて未来大学、北海道教育大学函館校、函館工業高等専門学校などの講話や出前授業などにより、自分の進路を思い描き、職業や仕事への関心・意欲を高めている。</p>	<p>・質問を踏まえ、キャリア教育や高等教育機関との連携に関する記述を追加し、修正する。</p> <p>（修正案） 5 社会を生きる力を育む教育の推進 ④児童生徒一人ひとりの自己実現にむけて、地域産業や高等学校などとの連携によるキャリア教育の充実に努めます。 ⑤高等教育機関が有する機能を有効活用し、産業・文化・生涯学習の振興など地域づくりを推進するため、大学や高等専門学校などとの連携を図ります。</p>
<p>数年前から、幼稚園、保育園、小学校の園長、学校長、先生方による幼保小連携協議会をつくり、小学校が保育園、幼稚園に求めること、保育園、幼稚園が小学校に求めることにはギャップがあったが、小学校、幼稚園、保育園の先生方が、それぞれの子どもの様子を見に行き情報交流を深めている。それ以外にも行事毎に、校長、園長が見に行くという実践しており、今後も、連携や情報交流を深めるように促していく。</p>	
<p>・安全とは、学校施設の整備や自らの身を守るための能力を身につけることであり、安心は子どもたちが事故や事件に遭わないような教育環境を構築することであり、それが、日常的に全ての学校が同じような教育環境にできることが安定だと考えており、具体的には、学校での防災教育、安全教育、防犯教育などの推進、地域での子どもたちの登下校時などの見守り活動など、学校、家庭、地域、関係機関が連携し、子どもたちの安全・安心を図っていく。</p>	

基本計画9 生涯学習の推進

NO.	区分	内容	該当箇所（修正前）
16	質問	<p>主要施策（1-④）</p> <p>・豊かな心を育むため芸術文化に触れる機会の拡充とあるが、具体的にはどういった取り組みをされているか。</p>	<p>1 青少年学習活動の充実</p> <p>④豊かな心を育むため、芸術文化に触れる機会の拡充に努めます。</p>
17	質問	<p>主要施策（1-④）</p> <p>・各学校で子どもたちに芸術文化に触れるカリキュラムはあるか。</p>	<p>1 青少年学習活動の充実</p> <p>④豊かな心を育むため、芸術文化に触れる機会の拡充に努めます。</p>

基本計画10 文化、スポーツの振興

NO.	区分	内容	該当箇所（修正前）
18	質問	<p>主要施策（4-②）</p> <p>・スポーツ少年団の北斗市内の団体数の状況、体育指導員（スポーツ推進員）の活動内容、少人数学校での体育指導についてお聞きしたい。</p>	<p>4 スポーツ指導者の育成と活動内容の充実</p> <p>②スポーツを通じた青少年の育成のため、学校と地域指導者が連携し、スポーツ少年団活動などの充実に努めます。</p>
19	意見	<p>主要施策（3-②）</p> <p>・少年時代のスポーツは人間形成に影響がある。高齢者にもスポーツは大切だと思っている。子どものときからどのようにしたら良いかということが重要な課題であるので、力を入れていただきたい。</p>	<p>3 市民皆スポーツの実践</p> <p>②だれもがスポーツを楽しむことができるよう総合型スポーツクラブと連携し、ニュースポーツの振興などに努め、市民皆スポーツの実践を目指します。</p> <p>4 スポーツ指導者の育成と活動内容の充実</p> <p>②スポーツを通じた青少年の育成のため、学校と地域指導者が連携し、スポーツ少年団活動などの充実に努めます。</p>
20	意見	<p>主要施策（1-②）</p> <p>・文化活動、生涯学習講座については、以前は技術や芸術文化を高めるということを目標にしていたが、高齢になり、集まった仲間が楽しく、仲良く、自分が良かったと思えることが大事であり、気持ちが薄れてくると思うので、緊張したりすることが必要である。</p>	<p>1 芸術文化活動の振興</p> <p>②各種サークル・団体の育成と文化活動推進のための指導者育成を図り、魅力ある芸術文化活動を促進します。</p>

市の考え方	修正内容・修正文案（事務局案）
<ul style="list-style-type: none"> 文化団体協議会やかなでーる協会が芸術文化コンサートや音楽発表、演劇などを開催し、より一層、多くの市民の皆さんが良い芸術に触れる機会を増やそうと考えている。 	
<ul style="list-style-type: none"> 以前は毎年、劇団四季などを全校生徒に見せていたが、現在は小・中学校向けの公演は、総合文化センターで3年に1回実施している。また、各文化団体などが各学校に出向き、茶道や書道、和楽器の体験、郷土芸能などの出前授業を行っている。 	

市の考え方	修正内容・修正文案（事務局案）
<ul style="list-style-type: none"> スポーツ少年団は団体数26団体、482名となっている。 スポーツ推進員については20名で、子どもたちを含めた体育指導や体育行事への協力、ラジオ体操の普及など、さまざまなスポーツの指導をしている。 少人数学校の体育指導については、部活動での団体競技は厳しい状況であるが、他校の部活に入部し一緒に部活動をした例はあり、小規模校同士や中規模校に行き体育の授業を一緒に受けるというような活動を進めている。 	
<ul style="list-style-type: none"> 総合型スポーツクラブとの連携やスポーツ指導者の育成を通じ、青少年スポーツの振興には特に力を入れていると考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 主要施策3-②で総合型スポーツクラブとの連携、4-②で学校と地域指導者の連携、スポーツ少年団活動などの充実を記載しており、意見の内容を含んでいることから、修正はしないこととする。
<ul style="list-style-type: none"> 今後とも、魅力ある芸術文化活動の促進に努めたい。 	

基本計画 1 1 移住・定住の促進

NO.	区分	内容	該当箇所（修正前）
21	質問	共通事項（計画） ・平成28年度の移住者数の実績は何人か。	

市の考え方	修正内容・修正文案（事務局案）
<p>・平成29年度から新たな取り組みとして、首都圏や札幌圏からの転入者に対する引越し費用や空き家バンクに登録されている空き家に転入する方への助成を行っているため、補助や施策としての実績はないが、平成28年度の札幌圏と道外からの1年間の転入者数は492人となっている。</p>	

基本目標4 市民参加による協働のまちづくり

基本計画1 地域コミュニティ基盤の充実

NO.	区分	内容	該当箇所（修正前）
22	意見	<p>共通事項（計画）</p> <p>・市民参加の推進のため、町内会長の力も借り、市をブロック分けし、運動会を実施してはどうか。</p>	
23	意見	<p>共通事項（計画）</p> <p>市民参加の推進のため、カラオケ大会を実施してはどうか。</p>	

基本計画3 時代に対応した持続的で効率的な行財政運営

NO.	区分	内容	該当箇所（修正前）
24	意見	<p>現状と課題</p> <p>・市民参加の項目に行財政のことを入れるのは、市民が行政に参加するときに基本的な財政運営を知ってほしいという意図があるのか。</p> <p>・市民参加は要望だけではなく、双方が現状を理解しながらやっていきましょうというパートナーシップで、理解いただける書き方はないか。</p>	<p>現状と課題（最終段）</p> <p>こうした中、福祉サービス水準の維持に努め、人口減少を克服する地方創生や公共施設の長寿命化対策など、新たな行政課題に対し、的確に対応できるよう、弾力性をさらに高め、之を持続させる財政運営を行っていく必要があります。</p>

市の考え方	修正内容・修正文案（事務局案）
<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティを高めしていくためには、町内会での取り組みが重要であると考えており、市としてはその活動に対する支援として、町内会活動活性化交付金などにより、事業活動の推進に努めている。（主要施策4-②） ・運動会については、町内会単位では、3町内会で実施している状況はあるが、市が主体的に運動会を開催する計画は持っていない。 ・町内会単位で行っている運動会のほうが、地域のコミュニティ形成には有効であると考え 	<ul style="list-style-type: none"> ・主要施策4-②で町内会活動活性化交付金などの支援を記載しており、運動会のみ主要施策に加えることにはならないことから、修正しないこととする。
<ul style="list-style-type: none"> ・カラオケについては、市の公共施設にあるカラオケ機械の利用者に温度差があり、また利用する団体は、町内会というより愛好会が多い現状であることから、カラオケ大会が市全体のコミュニティ形成に有効かの判断は難しいと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、各利用者への聞き取りなどを行うが、現状では主要施策に加えることにはならないことから、修正しないこととする。

市の考え方	修正内容・修正文案（事務局案）
<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標4に行財政に関する基本計画を設けた意図は、意見のとおりである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を踏まえ、市の現状認識に関する記述を追加し、修正する。 <p>（修正案）現状と課題の最終段に追加 こうした中、福祉サービス水準の維持に努め、人口減少を克服する地方創生や公共施設の長寿命化対策など、新たな行政課題に対し、的確に対応できるよう、弾力性をさらに高め、之を持続させる財政運営を行っていく必要があります。</p> <p>さらに、行財政運営の情報が多くの分野における協働関係を構築、拡大していく上での基本情報であることから、市民・行政の共通理解を深めていくことも重要です。</p>

基本計画4 ほくと・魅力の向上

NO.	区分	内容	該当箇所（修正前）
25	意見	<p>共通事項（計画）</p> <p>・戊辰戦争に関する史跡が市内に結構あるが、市民がよくわかっていなく、知っている人がその史跡を見に行っても、看板の錆びなどで、表示している文言が見えなくなっている。もう少しアピールとして、隣の函館市や松前町、江差町とタイアップするなど、新たな魅力の発信をすることはできないか。</p>	
26	意見	<p>共通事項（計画）</p> <p>・北斗市を花いっぱいのにまちにできないか。</p>	
27	意見	<p>共通事項（計画）</p> <p>・当別・茂辺地間の平磯を使った水族館の建設はできないか。</p>	

市の考え方	修正内容・修正文案（事務局案）
<ul style="list-style-type: none"> ・看板については、状況を再確認して早急に修繕する。 ・戊辰戦争の史跡としては、市内に台場山や戸切地陣屋などがあり、函館を含めて道南各地に遺跡があるので、今後、渡島管内博物館連絡協議会などを通じ、各市町と連携をとりながらPRに努める、また観光ルートや学習の場となるよう提案していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戊辰戦争の関係史跡については、主要施策3-①で本市固有の財産である歴史や自然がたくさんの人を呼び込み、本市への新しい人の流れをつくる、また、基本目標2基本計画10においても文化財の収蔵保管に努めると記載していることから、計画の修正はしないこととする。 ・他の市町との連携については、具体的な事例であり、実施については実施計画の中で検討したい。
<ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱい運動として、市の花であるマリーゴールドの植栽を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱい運動については、基本目標3基本計画7の主要施策3-②に記載していることから、計画の修正はしないこととする。
<ul style="list-style-type: none"> ・参考意見とする。 	